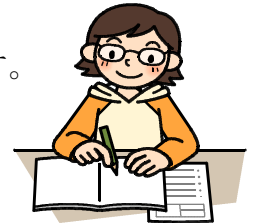




指導と評価の一体化に向けて

新しい学習評価を実施する中で、困っていることはありませんか。
今回は、ひとつの単元（題材）での指導と評価の流れを確認してみます。



1 学習指導要領の内容を確認する

学習指導要領を読んで、各学年・領域等の目標やその目標を実現するために学習する内容を確認しましょう。

2 目標の設定と評価規準の作成

育成する資質・能力と教材を具体的にして、単元（題材）の目標を設定しましょう。同時に、単元（題材）の評価規準を作成します。

作成の際は、評価規準の例を参照しましょう。評価規準の例は、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（令和2年3月国立教育政策研究所教育課程研究センター）」に、「内容のまとめりごとの評価規準（例）」として記載されています。小学校、中学校とも教科別により出版されており、HPからのダウンロードも可能です。



URL <https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>

3 指導と評価の計画を作成する

単元（題材）の「どの場面で」、評価の3観点のうちの「どの観点で」、見取りの方法を「どのように」行うのか考え、単元（題材）の指導計画に反映させていきます。このとき、評価の目安（おおむね満足できる「B」と判断できる基準）を明確にしておくことがとても重要です。

例：小学校5年生社会科 米作りのさかんな地域の「思考・判断・表現」の第○時の評価

○評価規準「日本の農業の現状を改善することについて、学習したことを基に、生産者や消費者の立場などから多角的に考え説明している。」

○評価の目安

日本の米作りに関わる社会の仕組みとそこに見られる社会の課題を捉えた上で

i 米作りが抱える課題の影響を見いだしている

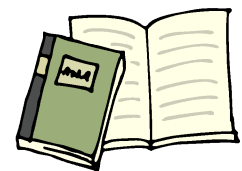
ii 新しい取組を進めることによって社会の課題のどのような点を改善するのかを考えている

iii 米作りへの関わり方とその効果を多角的に考えている

○評価方法：ノートの記述（まとめの記述）

i 及び ii について書かれている場合はB

加えて iii について書かれている場合はA とする



また、評価の目的を使い分けることで、授業（学習）改善に生かしたり評価に係る負担を軽減したりすることができます（裏面のポイント②を参照）。

評価計画を作成する上でのポイント

① 3つの観点の評価を単元（題材）の学習を通してまんべんなく行うこと

1時間の授業の中で評価する観点は1つか2つにしぼり、単元（題材）全体で評価が行えるようにしましょう。

② 評価の目的を明確にすること

【記録に残す評価】を行う時間と、【指導（学習）改善に生かすための評価（学習状況を見取り、Cの児童生徒をBにしたり、Bの児童生徒をAにしたりするための評価）】を行う時間を分けて計画を立てましょう。

③ 評価する方法を明確にすること

児童生徒の学習状況は様々な方法で見取ることができます。ノート、レポート、作品などから見取るのか、それとも学級やグループなどでの話し合いの状況など活動場面から見取るのか等を予め考えておくことが大切です。特に活動の状況から評価を行う場合は、記録に残す方法を準備しておく必要があります。

4 授業を実施し、評価の結果を踏まえて指導（学習）の改善を図る

特に【指導（学習）改善に生かすための評価】を行う場合は、評価を行うタイミングを考えましょう。児童生徒が学習の改善を図るチャンスがあるタイミングで見取りを行い、Cと判断される児童生徒には必要な指導・支援を行うことが重要です。

5 観点別学習状況の評価を総括する

（例1）3つの観点ごとにA、B、Cで評価記録を残し、その数が最も多いものを観点別の評価とする。

（例2）3つの観点ごとにA、B、Cで評価記録を残し、Aを3、Bを2、Cを1などの数値に置き換えて合計や平均を求め、15以上はA、8以下はCなどの基準を設定し、観点別の評価とする。

その他、単元の最後の評価記録を観点別の評価とするなどの方法があります。教科担当や学校で、児童生徒の実態をよりの確に評価していると考えられる総括の方法を実践・改善していきましょう。



■ 評価を進めるために大事にしたいこと

- 教科部会、学年会を活用して学校全体で評価の改善に取り組む体制を作りましょう
- 評価に対する正しい理解と研修の積み重ねで教員の意識改革を図りましょう
- 指導したことを確実に評価して授業改善の充実を図りましょう
- 職員室内の対話などを通して児童生徒を見取る目を養いましょう

評価の考え方など詳しいことは、10月に資料配付した管内校長会議資料にも記載しています。現在も評価に関する要請訪問の依頼をいただいています。「教科ごとにより具体的な評価の方法が知りたい」「主体的に学習に取り組む態度の評価の方法が知りたい」などご要望や、お困りのことがありましたら、ぜひ指導室・安房分室にご相談ください。

【参考資料】

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校社会 令和2年3月
国立教育政策研究所 教育課程センター

「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」平成31年 教育課程部会

「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料（小学校）」令和2年

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」平成28年12月 中央教育審議会

「小・中学校 新しい学習評価Q&A」令和2年3月 千葉県教育委員会